

令和7年第2回下仁田町議会定例会会議録第1号（11日）									
招集年月日	令和7年6月11日								
招集の場所	下 仁 田 町 議 会 議 場								
開閉会日時 及 び 宣 言	開 会	令和7年 6月11日午前10時00分				議 長	佐 藤 博		
	閉 会	令和7年 6月20日午前10時13分				議 長	佐 藤 博		
議 員 出 席 状 況	議席番号	氏 名	応招 不応招 別	出欠席 別	議席番号	氏 名	応招 不応招 別	出欠席 別	
応 招 10名	1	堀 越 健 介	○	○	6	岡 田 邦 敏	○	○	
不応招 0名	2	並 木 一 夫	○	○	7	木 暮 弘 元	○	○	
出 席 10名	3	小井土 光 弘	○	○	8	佐 藤 博	○	○	
欠 席 0名	4	大 手 博 幸	○	○	9	千 野 榮 治	○	○	
欠 員 0名	5	佐々木 信 也	○	○	10	堀 口 博 志	○	○	
【 凡 例 】 ○応招・出席を 示す ×欠席・不応招 を示す									
会 議 録 署 名 議 員	3 番	小井土 光 弘	4 番		大 手 博 幸				
職務のため議場に 出席したものの氏名	事 務 局 長		佐 藤 正 明		書 記		石 井 史 子		
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長		岩 崎 正 春		福 祉 課 長		市 川 博 生		
	教 育 長		里 見 立 夫		保 健 課 長		今 井 美 和		
	総 務 課 長		下 山 光 一		農 林 課 長		佐 藤 圭 司		
	企 画 課 長		神 戸 領 栄		商 工 観 光 課 長		竹 内 誠		
	住 民 税 務 課 長		小 金 澤 康 夫		建 設 水 道 課 長		鈴 木 昌 吾		
	会 計 課 長		東 間 克 敏		教 育 課 長		荻 野 文 昭		

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
町長挨拶
- 3 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 令和7年6月11日 午前10時00分

○議長 佐藤博 おはようございます。

議員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年第2回下仁田町議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

○議長 佐藤博 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、3番 小井土光弘君と4番 大手博幸君を指名いたします。

○議長 佐藤博 続いて、日程第2、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期については、さきの議会運営委員会で本議会の運営等について協議がされておりますので、その結果について報告を求めます。

議会運営委員長

(堀口博志議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 堀口博志 おはようございます。

議長のご指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。

去る6月2日、午前10時から303委員会室において、議会運営委員会を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取扱い等の議会運営に関する事項について協議を行いましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。

まず、会期につきましては、本日から6月20日までの10日間とし、審議日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりです。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定の後、町長のご挨拶をいただきます。

その後、一般質問を並木一夫議員、堀越健介議員の2名の方が行います。

また、一般質問終了後、全員協議会を開催し、本定例会に提案されております議案等の細部にわたる説明をしていただきます。

12日は、引き続き全員協議会を開催する場合は終了後、11日に全員協議会が終了した場合は、午前10時より本会議を開催していただきます。

報告第1号及び報告第2号を上程、報告の後、第27号議案から第35号議案まで上程、提案者の説明、質疑、討論、採決を行います。

次に、第36号議案の補正予算については、上程の後、提案者の説明、質疑の後、予算決算特別委員会に付託し、陳情につきましては所管の委員会に付託し、審査をお願いすることに決しました。

13日は、予算決算特別委員会を開催していただきます。

14日及び15日は休日につき休会とし、16日は総務常任委員会及び総務常任委員会協議会を開催していただきます。

17日午前は休会とし、午後は委員会予備日といたします。

18日は、午前10時より社会経済常任委員会協議会を開催していただきます。

19日は、委員会予備日といたします。

20日最終日は午前10時より本会議を開き、各委員長から委員会審査の報告を受けた後、第36号議案に対しての討論、採決、また、陳情の採決を行い、全日程を終了する予定です。

以上、この会期、日程等にご賛同を賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げて、報告といたします。

○議長 佐藤博 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から6月20日までの10日間にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 佐藤博 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は、本日から6月20日までの10日間と決定いたしました。

○議長 佐藤博 続いて、町長から定例会招集の挨拶をお願いします。

町長

(岩崎正春町長 登壇)

○町長 岩崎正春 皆さん、おはようございます。

令和7年第2回下仁田町議会定例会開会に当たり、ご指名をいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、定例会にご参集いただき、ありがとうございます。

冒頭、去る5月29日のこんにゃく食べよう健康増進条例の報道発表に際しましては、議員各位の事前公表にご理解をいただき、併せて発表会へのご出席を賜り、改めまして御礼申し上げます。おかげさまで、こんにゃくの日に合わせてプレスリリースを実施できたことで、注目度が高く、北は北海道新聞、南は沖縄タイムスにより報道され、こんにゃくの町下仁田を改めて内外に周知することができました。

さて、本定例会には2件の報告のほか、議案10件についてご提案申し上げます。

初めに、車両接触事故に伴う専決処分についてご報告申し上げます。

続く報告第2号は、令和6年度繰越明許費繰越計算書でございます。

次に、第27号議案から第29号議案におきまして、町税条例及び国民健康保険税条例並びに令和6年度一般会計補正予算について、それぞれ専決処分の承認を求めることについて提案させていただきます。

続く第30号議案では、教育委員会委員長の任命についてご提案申し上げます。里見教育長におきましては、町の宝である子供たちの教育環境のため、引き続き豊かな経験の下にご尽力いただきたいとするもので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第31号議案では、町の法改正に伴い、いわゆるマイナンバーカードの利用に関する条例の一部改正を提案いたします。

続いて、第32号議案では町条例の一部改正、第33号議案は企業誘致促進条例の一部改正をそれぞれご提案いたします。

さらに、第34号議案では、冒頭に申しましたこんにゃく食べよう健康増進条例の制定についてご提案申し上げます。重ねてではございますが、本条例は、こんにゃくの消費低迷への対策はもとより、地場産業振興と地域住民の健康増進が2つの柱でございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第35号議案では、スクールバス購入に伴う財産の取得についてご審議願

うものです。

そして、最後に３６号議案におきまして、令和７年度一般会計補正予算案をご提案させていただくものです。

いずれも住民生活に密接した重要な案件ですので、慎重審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和７年度第２回議会定例会に当たり、ご挨拶を申し上げます。本日より大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

○議長 佐藤博 次に、日程第３、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。並木一夫議員

(並木一夫議員 一般質問席へ)

○２番 並木一夫 議席番号２番、並木一夫、議長に発言の許可をいただき、通告書に基づき一般質問させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

最初の質問ですが、練馬区との防災協定について。

協定は期限があるのか。

現在、練馬区との防災協定を結んでいると思いますが、防災のみならず、協定を結んでいることによる練馬区との地域間の交流も大事だと思います。

そこで質問ですが、現在、練馬区とはどのような交流を行っているのか、お伺いします。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 お答えいたします。

練馬区とは、平成２２年１１月２４日に締結した練馬区と下仁田との災害時における物資等の支援に関する協定書により防災協定を結んでおります。

平成２４年１月には、練馬区の震災総合訓練に救援物資輸送車として議会ワゴン車が参加したほか、平成２５年４月には、練馬区と防災協定を締結している自治体の意見交換が行われていますが、平成２６年度以降は何も行われていない状況が続いておりました。

私の公約でもある練馬区と近隣市町村との連携促進を掲げております。３月末には練馬区を訪問いたしまして、区長さんや防災の担当室長さんとお会いし、今後の防災連携や相互の地域間交流についてお願いしたところでございます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○２番 並木一夫 早速、公約どおりの行動をしていただきまして、途絶えていた交流が復活するようです。大変うれしいことだと思います。

続いて、協定について細かいところを確認していきたいと思います。

交流が途絶えていたようですが、練馬区との協定に期限があるのでしょうか。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 細かいところは事務方の総務課長に答弁させていただきます。よろしくをお願いします。

○議長 佐藤博 総務課長

○総務課長 下山光一 お答えいたします。

練馬区との協定につきましては、協定の締結日である平成22年11月24日からの施行で、期限の記載はされておられません。

よって、締結の解除を行わない限りは続くこととなっております。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 期限がないのに交流が途絶えていたことについては疑問が残ることではありますが、協定により災害時の避難経路はどのようになっているのか、また、受入人数についてどのようになっているのか、お聞きします。

○議長 佐藤博 総務課長

○総務課長 下山光一 本協定書は、地震等の大規模な災害が発生した場合、被災した側の要請により応急対策等が円滑に実施できるよう、必要な食料、物資、資器材等の応急物資を支援することを目的としております。物資等の支援に関する協定ですので、避難者の受入人数や避難経路の設定といった取決めはございません。

また、具体的な被災した側が要請できる支援の内容につきましては、食料、飲料水、生活必需品及びそれらの供給に必要な資器材の提供、応急物資の運送等に必要な車両等の提供、その他、特に必要と認められる事項と定められておりまして、練馬区が当町に供給する応急物資としては、備蓄物資、飲料水、その他、当町から練馬区に供給する応急物資としては、生鮮食料品等、飲料水、その他と記載されており、要請を受けた側は輸送車両を自前で用意しまして、調達できる最大限の量を確保し、被災都市に供給することとなっております。

なお、協定に記載はございませんが、大規模災害等で練馬区から避難者の受入要望ございましたらば、こちらにつきましては可能な限り対応していきたいと考えております。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 物資等の支援ということですが、避難の可能性もありますので、

その辺は臨機応変に対応していただければと思います。

続いて、災害時に優先に使えるコンテナホテルについて質問いたします。

現在、富岡市や甘楽町にコンテナホテルが建設されています。コンテナホテルは、災害が発生した際、トレーラーでホテルを被災地まで運び、被災地で避難所として役割を果たすことが期待されますが、下仁田町での設置について考えをお聞かせください。

○議長 佐藤博 総務課長

○総務課長 下山光一 富岡市と甘楽町に民間企業が運営しているコンテナホテルがございます。「有事の際には速やかに客室を被災地へ移設し、避難施設等として利用できるレスキューホテルの役割を担うことで、災害に強い社会をつくり、未来の命や暮らしを守ることを目指す」という企業方針で事業展開をしているようでございます。

災害発生などの有事の際に依頼することで、既存のコンテナホテルを被災地まで運搬し、避難所などとして活用できるというもので、全国で105拠点、3,890室、群馬県内には10拠点、368室が稼働しているようでございます。

コンテナホテルの設置については、企業側が用地選定から用地取得を行っておりまして、町が直接誘致をするということではございませんが、群馬県のほか、近隣自治体でもこの企業と災害協定を締結しております。全国的にも災害協定締結自治体、こちらが増加している状況にございますので、当町も締結について検討していきたいと思います。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 コンテナホテルは、有事の際、非常に大きな役割を持つと考えられます。下仁田町に設置することは難しいかもしれませんが、災害協定を結ぶことは、有事の際も安心にもつながることだと思いますので、ぜひ検討をお願いします。

続いて、質問、道の駅改善について。

道の駅しもにたの改善についてお聞きします。

駐車場から建物の間に歩行者用の屋根をつけたらどうか。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 道の駅は所管であります商工観光課長に答弁いたさせます。

○議長 佐藤博 商工観光課長

○商工観光課長 竹内誠 お答えします。

道の駅しもにたは、県内で16番目の道の駅として、平成15年12月に

開業しました。

下仁田ねぎやこんにゃくなどの地元特産品の販売強化を図るため、平成28年度から30年度にかけまして、売場面積の拡張、駐車場の拡張や交差点改良などの整備を行ってまいりました。

先月5月14日、防災道の駅に新たに選定されました。群馬県が策定する防災計画や広域道路交通計画に防災拠点として位置づけられております。災害が発生した際に、広域的な防災拠点としての役割を果たすために、救護活動や復旧・復興活動の拠点となるため、自衛隊、警察、消防などの車両の出入りや支援物資の搬入・搬出などが想定されることから、歩行者用の屋根の設置は適当ではないと考えております。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 防災道の駅については理解できるところでございますが、例えばブロック分けをするなど、一般車や大型車の配置を検討してみてもはどうでしょうか。

○議長 佐藤博 観光課長

○商工観光課長 竹内誠 日常でも高速バスの停留所もあり、大型トラックの出入りも多いことから、大型車両の導線や駐車場のスペースなどを考えると、現状のままだとよいと思われれます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 続いての質問まいります。

屋根下の導線が悪く、歩きにくいので改善できないのか。

先日、現地に確認してまいりました。その日の天候が雨だったので、入り口の部分に屋根やひさしの必要を感じたところですが、いかがでしょうか。

○議長 佐藤博 商工観光課長

○商工観光課長 竹内誠 前回のリニューアルで売場面積の拡張と観光案内所の設置を行いました。その際に、閉鎖的だった屋根の部分の改良し、また、来客者からのアプローチの部分もカラーのインターロッキング舗装にすることによりまして、より開放的になりました。

また、令和2年度から3年度にかけまして、新型コロナ交付金により屋根やひさしの増築、フードコートテーブルと椅子を購入し、利便性を図ってまいりましたところでございます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 例えば、物品販売のブースとフードコーナーへの導線を分けたり、自動販売機コーナーの配置を見直すなど、いかがでしょうか。

○議長 佐藤博 商工観光課長

○商工観光課長 竹内誠 やはり雨の日などは屋根やひさしなど必要ではないかと考えられます。来客者の目線に沿った利便性を考え、また、景観や各関係法令とも調整しながら再検討してまいりたいと思います。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 続いての質問まいります。

トイレの裏側の景観が悪い。この場所に子どもが遊べる遊具やドッグランを作ってはいかがでしょうか。

○議長 佐藤博 商工観光課長

○商工観光課長 竹内誠 来客者が道の駅で過ごす時間を少しでも長くしていただくための施策としまして、今までも子どもが遊べる遊具やドッグランの設置につきまして検討してまいりました。

遊具につきましては、安全点検など維持管理や事故等が発生したときの管理責任などの諸問題から設置を見送っています。ドッグランについても、場所、ごみや排せつ物の片づけ処理、事故責任などの諸問題から、設置は困難であると判断しています。

道の駅の敷地内は、町有地だけでなく、群馬県の所有地、民間の所有地に分かれておりまして、現在の残地は浄化槽が設置ある敷地や傾斜地の部分は湿地となっており、これらの施設の設置には適当ではないと考えられます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 新たに適正な場所を見つけて整備はできないでしょうか。

○議長 佐藤博 商工観光課長

○商工観光課長 竹内誠 これらの施設を新たに設置する際には、用地の取得等も必要になります。景観にも考慮しながら、今後も検討を重ねてまいりたいと存じます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 最後に、町長から一言答弁をお願いいたします。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 ご存じのように、先月5月14日、当、道の駅しもにたは、防災道の駅に新たに選定されました。全国で79駅、群馬県下では、田園プラザ川場に続いて2つ目となり、大変名誉なことだと認識しております。

国道254号線、長野県境と接している自治体として、今後も広域的な防災拠点として役割を果たすための整備をしつつ、併せて、集客や特産物の売上げを伸ばすための施策を検討してまいります。

施設の改善についても、防災道の駅ということで、どの辺の範囲まで我々の道の駅が役割を果たすかということについても、国ともよく協議してまいりまして、さらにお客様の目線に沿って検討を重ねてまいりたいと思いますので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

○議長 佐藤博 並木一夫君

○2番 並木一夫 少し時間が早いのですが、ここで私の一般質問を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

○議長 佐藤博 ここで暫時休憩いたします。

なお、再開を10時40分といたします。

休 憩 午前10時28分

再 開 午前10時39分

○議長 佐藤博 休憩を解いて再開いたします。

堀越健介議員

(堀越健介議員 一般質問席へ)

○1番 堀越健介 ただいま議長のお許しをいただきましたので、議席番号1番、堀越健介が、通告書に基づきまして一般質問をさせていただきます。

本日は、下仁田駅周辺の整備について、これから進むべき方向や取組など、町民の皆さんから寄せられた意見を中心に質問をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

岩崎町政となって初年度が始まりましたが、一般予算58億円という中で、いろいろな取組が進まれるようで、大変期待をしているところでございます。

その中の主要な事業といたしまして、下仁田駅の周辺整備が本格的に開始されるようですが、まずはその整備の概要を教えていただきたいと思います。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 ただいまの堀越議員のご質問にお答えいたします。

私が町長に就任して以来、初年度が始まりました。前年度からの継続事業も含み、消防施設関係、高齢者福祉事業、学校設備工事など、議会でもご協議いただいた事業、また、必須事項を実行に移す予算編成となっております。

町長に就任し、多方面からの情報を見聞きし、研究しますと、少子高齢化の進行、人口減少の新たな弊害、また、社会情勢も不安定であり、予測が困難な状況が続くことが予想されます。直接的に様々な課題に直面し、解決や改善に向けた取組が必要であると感じています。

そのような中でも次なる下仁田町の将来を想定し、持続的な地域づくりを実践していくことは、基礎自治体の責務であると深く認識しているところで

ございます。

その主要事業の一つ、下仁田駅周辺整備の事業が今年度から開始されます。その事業概要につきましては、担当課の企画課長に答弁させていただきます。よろしくお願いします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 堀越議員のご質問にお答えします。

町では、町内の中心地域を活性化させるということで、町の商業振興及び地域活性化につなげ、ひいては町全体の波及を図るという目的で、令和4年度に「街なか活性化事業の基本計画」を策定いたしました。

この計画は、町民皆様からアンケートやヒアリングなどにより意見を伺って、併せて、各種団体や有識者等で検討委員会を組織しまして、多くの方々のご協力を得まして策定をいたしたところでございます。

現在、計画に基づいた施策を実行に移し、計画が掲げます、その計画を具現化できる取組を進めているところでございますが、その計画で掲げる基本方針の一つ「つどう」で、取り組むべき下仁田駅周辺の整備について、整備推進委員会で検討を行い、令和5年度に、「街なか活性化事業拠点整備計画」を策定し、議会との協議を重ねまして、整備についてのご予算をいただいたところでございます。

施設の概要ですが、電車やバスを待つ人が居心地よくいられる場として、また、町に訪れた方の周遊拠点、イベント等の開催による交流の場としてのスペース、また、町なかにある観光案内や各種情報の提供ができて、荒船風穴等の地域資源を知ってもらうきっかけづくりとして、情報案内機能、そして、下仁田町とゆかりの深い貴重な電気機関車デキ車両の展示、清潔ですべての人に使いやすい公衆トイレ、屋外で電車や自然を眺めながらのどかに休める鉄道の広場などを整備する予定です。

街なかの拠点として充実をさせまして、また、住民が集える場所を提供するものでございます。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 ありがとうございます。

この計画によりますと、電車やバスを利用する人だけではなく、来訪者や町民、そして、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代が集う場所、人が集まる居場所として活用できると思います。

そこで、これまで整備計画を進める中で、施設を有効に活用するためにどのような協議を行い、どのような効果を期待しているのでしょうか、お伺い

いたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 先ほど経過を回答させていただきましたが、計画の策定の中では多方面からご意見をいただいて、議会の協議の中でもいろいろなご意見をいただいたところでございます。

施設内容についてご協議をいただきましたが、整備推進委員会でも利活用についてのご意見はいただいております。観光やイベント情報などの提供ブースの充実などのご意見をいただいております。

近年、町内の飲食店が人気を博しているというところがありまして、週末には多くの方が町内を訪れているという状況があります。ですが、飲食店やトイレ、駐車場の位置、また、荒船風穴や町内施設への行き方などが分からないというようなお話をいただくことが多いということで、飲食店やイベントなどの周知をはじめ、各施設や観光地へご案内ができるようなブースの設置を想定しております。

また、ジオパークツアーや各種行事の拠点としての機能、また違った使い方として、健康増進事業などの福祉関連事業、学生などの成果の展示ですとか、交流イベントの会場、そして、下仁田高校がありますので、この生徒の交流の場などの継続的な活用ができるようにしていきたいと、いろいろなその施策のほうで考えていきたいと思っております。

新たに集える場所として、また、上信電鉄を利用する人のみならず、それ以外の方々も立ち寄って休息が取れ、情報が得られるような場所としての機能ができればと考えております。電気機関車のデキを展示するということで、下仁田駅との深いつながりの歴史を掲示をするということで、始発駅、また、終着駅としての魅力と意味をさらに高めまして、上信電鉄との様々な取組がなされるように電鉄とも連携を深めたい考えでおります。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 私も日ごろから町を歩いておりますと、最近の下仁田グルメを目的として多くの方が町内の飲食店を訪れていることを実感しております。

そのような人の流れを見ますと、来訪者は町のこんにやく体験道場にある町営駐車場に車をとめて、そこから歩いて飲食店に行き、食べ終わったら駐車場に戻って帰ってしまう、そんな場面を何度も見ております。ほとんどの人が、食事が済んだら町なかを散策することなく、すぐに帰ってしまうのが現状であります。以前から、もったいないな、食事の後に町なかに人が回遊

してもらえないかなと考えておりました。

そこで、今回、この整備で施設が出来上がれば、まさに食事後の散策情報収集拠点として、また、下仁田町の全体の観光案内発信拠点として、多くの役割を担う大事な拠点になると思います。

例えば、ジオスポットの青岩公園や自然史館を巡るジオ散策コース、また、赤レンガや中央通りを巡る昭和レトロコース、そして、下仁田銭湯ゆかりの地と歴史館を巡る歴史散策コースなど、今まで眠っていた観光スポットが日の目に当たり、下仁田町の様々な地域資源が注目されることを大いに期待しております。

そして、電気機関車デキの車両の展示も、鉄道好きの方や親子連れの集客もでき、見るだけではなく体験できるメニューがあれば、さらによいスペースになるのではないかなというふうに思います。

何より、関東の駅百選に認定されている下仁田駅の駅舎は、取り壊されることなく現在の駅舎を維持していただけることはよかったと、地域住民も大変喜んでいただいているところでございます。

また、この施設は、上信電鉄やバスを利用する人のみならず、町民も学生も休憩できる場所として、今後、下仁田町を活気づかせる大きなチャンスを生み出す場所になると思っております。

そして、町民も、その中でいつ施設が完成するのかと期待しているところではございますが、現在の進捗状況と整備箇所ごとの作業工程はどうなっているのか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 現在、今年度建築設備設計基準に基づき、整備内容の最終的な詰めの作業を行っているというところでございます。また、上信電鉄をはじめ各関係団体等と現状を勘案した協議を進めているというところでございます。

上信電鉄側の準備として、留め置いたまま放置されていた貨車の撤去、また、影響がある箇所の補強などを実施していただいているところでございます。

整備としましては、トイレ、バス待合所等の現状施設の解体から始まり、基礎土木工事、デキの搬入から東側駐車場等の補障部分の整備、建築工事、それに併せて附随する外構工事と進んでいく予定でございます。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 大変大がかりな工事になり、地域住民の協力や関係各所の協力

が必要だと思いますので、安全面には十分気をつけて工事を進めていただければと思います。

また、工事が始まると、バス、タクシーの発着場所の変更や車両の通行制限もあるかと思いますが、バス、タクシーの運行に影響はあるのでしょうか。そして、工事に対しての住民の理解と反応はいかがでしょうか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 工事を進めるに当たりましては、安全面に特に配慮をいたしまして、隣接の道路や周辺家屋になるべくご迷惑がかからないように仮囲いですとかフェンスなどを設けながら進める予定でございます。

4月には地元の旭町区の説明会を開催させていただきまして、いくつかのご質問やご賛同のご意見などもいただいたところでございます。中には、その利活用についてもご質問をいただいたというところです。

広報にも施設内容について掲載をさせていただきました。

その説明会時にも公共交通の利用に際してのご質問もありました。タクシーの運行には支障を来さないように進めていきたいと考えております。また、バス運行につきましても、駅前での乗車場所の多少の変更等はございますが、変わらずにご利用いただけるように進めてまいります。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 工事中は公共交通の利用者、バス・タクシー事業者、そして、住民とのトラブルがないよう進めていただき、バスに乗車する高齢者に対しての安全の確保と、通学者の送迎で混み合う時間帯も事故のないようお願いいたします。

また、施設完成後は、施設利用者も増えることが予想されます。そんな中、施設はこれから周遊拠点として交流人口の回遊性を高めることが当面の課題となっていると思いますが、そこで、道の駅しもにたや、ほかの施設との連携についてはどのように考えているのか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 道の駅のしもにたは、一年を通しまして多くの来訪者があります。また、あじさい園や荒船風穴などにも多くの観光客が訪れるというところでございますが、近年では町内にも多くの来訪者がいらっしゃるという状況にはあります。下仁田駅も拠点の一つとしてありますので、町内の施設など、多方面へ出向いていただけるような案内施設として、より充実させることで活用いただけるよう整備をしたいと思います。

また、下仁田町の特産品が理解できる資料など、この辺も展示をしていきまして、購買意欲などを高める取組も進めていき、また、今後、関係団体との連携の上、特産品販売などでもいろいろな取組を検討していきたいというふうに思っております。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 今後、やはり観光振興における下仁田駅から道の駅しもにたやあじさい園、そして、荒船風穴など、二次交通をどのように活用するのも重要だと思います。

現在、下仁田駅からはバスやタクシーのほか、5台のレンタル自転車があります。それは需要があると聞いております。

そこで、さらに、最近、各地で注目されている機能性の高いスポーツタイプの電動付アシスト自転車 e-bike を新たに導入することにより、長時間のサイクリングで四季折々の下仁田町の自然を楽しむことができ、それ自体が観光コンテンツとして活用でき、町の活性化に結びつくと思います。下仁田町で遊び、学び、体験することをテーマとして、今後、新たな施設とともに新たなニーズにチャレンジすることも大切だと考えます。

そこで、まずは道の駅しもにたと下仁田駅にレンタル e-bike の導入の検討をお願いいたします。また、施設完成後は、一人でも多くの方にお越しいただけるよう安全に誘導できるよう、国道254号線からの誘客看板と施設案内看板の設置の強化もお願いしたいと思います。

そして、先ほどの答弁の中で、完成後は学生が集う場所としても活用するとの予定でございますが、現在、下仁田町と下仁田高校はどのようなつながりを持ち、何を連携し、どのような支援を行っているのか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 教育課長

○教育課長 荻野文昭 お答えします。

下仁田高校の入学者数は、生徒の減少により厳しい状況にあります。令和7年度の新入生は、定員が44名のところ33名で、全校生徒の数は62名と聞いております。県立高等学校ではありますが、下仁田町を含む自治体が設けた組合によって開校した学校が基になっている歴史を持っております。町外から通う生徒のほとんどが上信電鉄を利用しており、町や上信電鉄にとっても重要な役割を果たしている学校と認識しております。

下仁田高校は、設置地域を拠点とし、地域の教育力を生かした高校教育の推進を行い、地域から信頼される高校とする「ぐんまコミュニティハイスク

ール」の研究指定を平成27年度から受けて実践を行い、それを学校の特色としています。

具体的には、歴史館や自然史館と連携して、荒船風穴やジオパークに関する地域学習や体験活動を通じて、町との事業連携に取り組んでおります。また、下仁田町商工会青年部と連携した事業も実施しており、6月4日、また、8日の上毛新聞にもその授業の様子やインターンシップの様子が紹介されていました。

町としても地元の高校を支援することは重要と考えています。令和5年度には、県教育委員会高等教育課の呼びかけで、高校の現状に関する協議会を開催して、小規模高校の在り方や魅力的な高校づくりについての意見交換なども行っております。

町では、今年度から高等学校の学習に必須であるICT機器を準備するため、教育にかかる経済的負担の軽減を図ることを目的に、教育支援・子育て支援として補助制度を創設いたしました。この制度は、下仁田高校に入学する生徒にも拡充され、現在、支援が始まっております。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 ありがとうございます。

私自身も、地元の高校を支援することは大変重要だと考えております。そして、上信電鉄とのつながりを考えると、下仁田高校の生徒の多くは上信電鉄を利用して町外から通う方が大半を占め、その影響も大きいと思います。

そこで、高校生などへの上信電鉄の定期券補助の支援は考えられないか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 令和6年度の下仁田高校の生徒のうち、約50名が上信電鉄を利用して通学してきております。高い割合で通学に電鉄を利用していたというところです。

通学費の公的支援は、進学先を検討する上で大きな要因になるということは推察されます。下仁田高校の支援にもつながるとは考えるところです。

一方で、上信電鉄の通学定期券を利用して町外の高校へ通学している生徒が、令和6年度では約70名ほどと聞いております。通学対象駅は、高崎駅から七日市区間が占めていまして、その支援の検討には、町内高校生の通学支援も検討する必要があるというふうに考えますので、この検討には町内の高校生を含むというところがございます。

上信電鉄では、毎年、沿線市町村では協議をしながら、鉄道の設備維持に

関しまして補助金を拠出しています。また、電鉄の支援だけではなく、経済対策支援としてもGOGOキャンペーンなどの利用促進事業なども実施をしているところでございます。これは好評を博しておりますので、また今年度も実施をさせていただくということになっておりますが、この財源の確保を含め、目的や趣旨を整理し、公平な制度の検討が必要であるというふうに考えます。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 上信電鉄の定期券補助は、子供たちの健全な育成や教育の機会確保をさらに広げ、保護者の負担軽減と子供たちが安心して通学できる環境の充実が可能になり、将来的にも下仁田町の子育て世代を増やす有効な手段となり、移住定住者の促進につながると考えます。ぜひ、下仁田高校への通学者と町内在住の高校生に対しても通学支援の検討を強くお願いいたします。

そして、下仁田周辺の整備が進み、これからいろいろなところにより波及効果があると思いますが、町が考える今後の上信電鉄についてどのように考えているのか、お伺いいたします。

○議長 佐藤博 企画課長

○企画課長 神戸領栄 「下仁田町街なか活性化基本計画」の策定時のヒアリングでも、あと、先ほど議員のおっしゃられた町民の方のご意見の中でも、下仁田駅の駅舎については、その雰囲気や建物自体の趣がいいとして現状の維持を望む声を多くいただいております。その駅舎自体の補修や修繕などは上信電鉄に実施をしていただくことになりますが、駅舎の改修は予定はしているところではございません。上信電鉄も同様な考えでありました。

ですけれども、駅舎より東側の状況やトイレの再整備など、いろいろなご意見をいただいております。議会でもそちらのほうのご協議はさせていただいたところでございます。

下仁田町のシンボリックな施設として、来訪者や住民が利用でき、多方面に機能していく施設ができるということは、下仁田町にとっても上信電鉄にとってもプラスなのではないかということで、協議した組織をつくりまして、計画し、また、議会でもご協議をいただいて予算を諮っていただいたというところでございます。

下仁田高校の学生に利活用いただくなど、地元の高校への支援をはじめ、いろいろな場面でつながりを密にすることは必要であると考えております。下仁田駅をランドマークととらえて、鉄道を活用するまちづくりは、これからも重要であると認識をしているところでございます。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 私もこの整備を行うことで、この施設が下仁田町の新たなシンボルとなり、町民や観光客がこの施設に集う場所として機能し、下仁田町が活気づく起爆剤になればと、大変期待しております。

そして、魅力ある施設をつくるには、町民と行政と議会が共に知恵を出し合い、協力し合うことが、地域価値を高め、持続可能なまちづくりにつながると思います。

ぜひとも、引き続き町民が主役のまちづくりを進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、いろいろと質問させていただきましたが、町長にもお考えをお聞かせいただければと思います。

○議長 佐藤博 町長

○町長 岩崎正春 様々なご提案をいただきまして、ありがとうございます。

昨今の少子高齢化、コロナ禍の影響、交通情勢により、上信電鉄も厳しい経営状況にあります。県や沿線市町村でその運営を支えている状況にあります。その状況の中でも、始発駅、終着駅としての下仁田駅があり、公共交通の玄関口として重要な拠点の一つです。

以前からトイレの改善、観光案内の設置など、いろいろなご意見をいただく中で、議会や多くの住民の方々のご協力をいただき、私が就任しましてもその流れを止めずに駅周辺の整備を実施するということになりました。駅の周辺を整備することで、来訪者、また、住民が集える場所を設け、下仁田駅と深いつながりの歴史を提示し、魅力と歴史的意義をさらに高め、長期にわたり上信電鉄と様々な取組がなされ、利便性の確保のみならず、住民の幸福満足度につながればと期待しております。

整備がこれから進みますが、工事のみならず、施設の運用や上信電鉄事業の実施などにつきましてもご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、最後に堀越議員から通告書にない内容でありましたが、堀越議員の熱心な質問に対して、私の考えの一端を述べさせていただきます。

電動バイク、電動自転車というんですか、これらは、今年の2月に森林事務所と下仁田町が共同で一度、試乗というんですか、ほたる山公園で行っております。大変、今、電動バイクというんですか、電動サイクルというんですか、バッテリーの性能がすごいよくて、1回の充電で100キロぐらい走るといふバイクらしいです。

私も農林業の活性化に力を入れてまいりたいと思いますが、今後、そうし

た林道もたくさん下仁田町には存在しておりますので、森林の伐採だけじゃなくて、そういったものに活用できればというふうな、私も心の中に留めております。堀越議員さんの提案は、また一つの方法だと思いますけれども、これからいろいろ精査して、また皆さんにご提案をいたしますので、そのときはご理解とご協力をお願いできればと思います。

以上です。よろしくお願いします。

○議長 佐藤博 堀越健介君

○1番 堀越健介 先ほどは大変失礼いたしました。

また、ご回答いただきまして、ありがとうございます。

今回のこの整備計画は、行政が描いた計画をそのまま落とし込んだのではなく、住民アンケートを十分に取り、ヒアリングや住民の聞き取り調査、また、協議検討委員会で十分協議した結果に基づき、出来上がった計画だと思っております。まさに、住民が主役の整備事業だと感じました。

しかし、施設が完成してよかった、きれいだ、だけで満足することなく、これからいかに活用していくか、ということが重要だと思います。そのためには、町民一人一人が当事者意識を持って、様々な活用方法の知恵を出し合うことが大切だと感じました。

最近、下仁田町商工会が定期的に青空市を開催して、大変好評であります。バイブレーションテーブルも様々なイベントを開催し、下仁田町を盛り上げております。下仁田ジオパークの会も、今年の日本ジオパーク再認定に向けて町を活性化させるために活動を展開しております。また、あじさい園を育てる会が保育管理行っているあじさい園も、シーズン僅か1か月の間に1万5,000人の集客があります。

このような下仁田町にある各種団体と連携し、活用して、町全体で盛り上げていければと思います。

また、上信電鉄は、下仁田駅は下仁田町の宝であります。今までもこれからも我々の日々の生活には欠かせない交通機関であります。特に、町の高齢化が進み、運転免許証の返納者が増えることにより、必要性も増すことは明確でございます。未来の子供たちの始発駅、終着駅の下仁田駅として、電車で通学ができるよう、今の時代を生きる我々が駅を守り、生かし、つなげることが役割だと思います。

ぜひとも、町民一丸となって下仁田駅周辺の整備がこれからの下仁田町に明るい未来を見いだせる整備になるようお願い申し上げまして、以上で私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○議長 佐藤博 以上で一般質問を終結いたします。

○議長 佐藤博 本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて解散をいたします。

なお、11時25分から、10分ほど休憩していただいて、302委員会室において全員協議会を開催いたしますので、議案書をお持ちの上、移動していただきますようお願いをいたします。

散 会 令和7年6月11日 午前11時16分